

設立趣旨書

1. 設立の趣旨

現代社会では、共働き家庭、ひとり親家庭の増加、そして子どもたちを取り巻く社会環境の変化などから、放課後の生活を安全に安心して過ごせる居場所を必要とする児童が増えています。また、保護者の働く環境が多様化しており、労働にかかる負担が増大する傾向にあります。

このような背景の中、放課後児童クラブ（学童保育）は、地域の方々や保護者による任意団体として運営されてきました。「子どもたちに家庭と変わらない安らぎの場所を」そのような思いから、学童保育たんぼぼは、保育が必要な小学校児童に対して、安全な生活の場を提供し、児童の心身ともに健やかな発達を援助するとともに、保護者が安心して就労できる環境を整え、健全で豊かな地域社会の確立に貢献し続けてきました。

しかし、運営の実情は、必要となる資源を保護者の努力に依存しているため、安定した運営を継続させることが困難です。また、これまで受け継いできたたんぼぼの保育の質を今後も維持し、向上させていくためには、現状の任意団体のままでは限界があります。

「この学童保育たんぼぼを守りたい。未来に続く多くの子どもやその親たちにも今のたんぼぼを継承したい。」そのような強い思いから、より社会的信頼を得られるNPO法人を設立することになりました。今後、更にこの活動を安定させ長期に継続させるため、法人格を取得し、より地域に密着した放課後児童の生活の場として、学童保育の質の向上に寄与していこうとするものです。

「学童保育たんぼぼ」は、横浜市の放課後児童健全育成事業として今後も市の補助金支給を受け実施してまいります。放課後児童クラブ（学童保育）の運営のみならず、子どもの主体的な活動や自然と親しむ活動、地域社会との交流活動等を通じ、子どもたちへの支援事業を行うことで、子どもの健全な成長や次世代の社会に広く貢献したいと考えています。

2. たんぼぼの歩み

1995年1月	日下小学区に学童保育を願う親たちの会設立 以降、日下小学区への4000枚のチラシの配布をはじめとした運動を多くの仲間との協力で展開
2月	設立する学童の名前を「学童保育たんぼぼ」と決定
3月	第1回入開所式（1年生5名、2年生4名） 地域・学校関係者・その他たくさんの方々のご協力により、自主運営・未委託の形で笹下5丁目（旧学習塾施設）にて学童保育所を開設
1996年2月	学童保育たんぼぼ 運営委員会設立
4月	当時の委託条件①児童の確保（最低20名）②施設の確保 ③指導員の確保（2名）を満たし、横浜市委託事業となる。

2000年3月	初めての卒所生を送る 創立5周年を祝う会
2003年5月	笹下3丁目 第二古林荘へ移転
2005年3月	創立10周年を祝う会
2006年4月	横浜市の事業制度変更により委託事業から補助金事業になる
2006年～2008年	小規模学童運営
2009年～	標準学童運営
2010年3月	創立15周年を祝う会
2013年6月	施設の耐震問題を機に、移転を計画
2014年4月	笹下5丁目 新築施設エミューズ ヴィラへ移転
2014年7月	保護者、指導員、保護者OBの有志による 法人化準備委員会設立
2014年9月	NPO法人学童保育たんぽぽ設立総会

平成26年9月21日

NPO法人 学童保育たんぽぽ
設立代表者 坂井 和子